平成29年度 施策評価シート

基本目標	IV	安心して暮らせる「すみだ」をつくる
政策	420	地域で支えあい、誰もが安心して暮らせるしくみをつくる
施策	421	福祉に対する理解を深め、地域活動への参加を促す
施策の目標	さまざまなこ	民が地域福祉について理解し、地域福祉の理念や活動が区民に知られ、 プラットフォーム※により地域の福祉課題の解決が図られ、地域で暮 士の支えあい、助けあい活動が積極的に行われています。

1 基本計画における成果指標の状況

指標名	「現在ボランティア活動・地域活動をしている」区民の割合									
	基準年(H28)	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37
目標	15				20.0					25. 0
実績	14. 2									
指標名	指標名 小地域福祉活動・ふれあいサロン等実践地区数									
	基準年(H28)	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37
目標	44				80					110
実績	44									

2 目標と現状(実績)についての分析及び総事業費推移

指標の推移・施策の課題や問題点について記述	総事業	費推移 (千円)
ボランティア活動や小地域福祉活動のPRとともに、地域福祉の担い手の発掘・育成や、効果的なコーディネート体制の構築を通じて、活動に参加しやすい仕組みづくりが求められて	H28	630, 864
いる。成果指標に挙げたボランティア登録者は、近年高齢化が進んでおり、今後は若年層を取り込む工夫が求められる。地域福祉活動は、地域での活動数の増加など、少しずつ取り組みの成果が上がっている。「ハートライン21」などの有償ボランティア活動は、平成23	H29	
年4月から利用時間の拡大を行い、利用者数・利用回数とも増加傾向にある。あわせて、障害者に対する理解が促進されるよう、啓発事業等を継続して実施していく。	H30	

3 施策の評価及び判断理由

Ē	評価	理由
	В	地域福祉活動は、地域での活動数の増加など、少しずつ取り組みの成果が上がっている。

4 今後の施策の運営方針

評価	施策の戦略的方向性
	(1) 優先的に資源投入を図る。
0	(2) 現状維持とする。
	(3) 現状維持だが、より効率的な運営を図る。
	(4) 資源投入の縮小を図る。

【上記の判断理由】

ボランティアセンターの相談機能やコーディネート体制等の更なる充実を図り、区民のボランティア活動を着実に推進し、地域福祉活動への積極的な参加を促す必要がある。また、障害者への理解を深めるための、継続的な啓発が必要である。

【今後の具体的な方針】

民生委員・児童委員活動のPR、小地域福祉活動の活動地域の拡大など地域福祉に関する担い手づくりの強化に努める。 また、障害者問題啓発事業において、毎年度の実施状況を踏まえ、適正に実施していく。

5 この施策に係る事務事業(重要度・貢献度順)

		歳出		目的に対	する指標	直近の評価内容
番号	事務事業名	決算額	施策への関連性	年度目標値	1# 1b	評価結果
		(千円)		年度実績値	推移	評価対象年度
1	地域福祉計画推進事業	420	地域福祉計画は「社会福祉法」等により各地方自治体が策定することとなってい		\rightarrow	現状維持
			る。社会状況の変化により、地域福祉の役割が増大 傾向にある。	14.2		平成28年度
2	民生·児童委員協議会等経	6.737	民生委員の拠り所となって いるうえ、民生委員同士の 意見交換により必要な知識	8	\rightarrow	現状維持
	費	3,707	や技術の習得の場となっている。	8	,	平成28年度
3	民生・児童委員施設見学会	1.549	民生委員・児童委員の資質 向上を目的とし、先進的な 取組をしている福祉施設等	1	\rightarrow	現状維持
		,	の見学を行うことにより、 福祉に対する理解を深め、 地域活動の参加を促す。	1	·	平成28年度
4	福祉保健センター事業	608,718	利用者は、ほぼ横ばいであ るが、機能訓練など一定の	48,000	\rightarrow	現状維持
7	田田 休佐 こング・デス	000,710	ケアが必要な方のために必 要な施設となっている。	53,483		平成28年度
5	ボランティアセンター管理運	13,040	区と社協で進めている小地域福祉活動は、民生委員・ 児童委員や町会・自治会の 活動に対する理解が進んだ	15	1	現状維持
ŭ	営費	10,010	ため順調に増えており、福祉に対する理解を深め、地域活動の参加に繋がっている。	14.2	,	平成28年度
6	墨田区原爆被害者の会補 助金	320	区内の原爆被害者で組織する墨田原爆被害者の会(墨田折鶴会)に対して運営費の一部を助成することによ	320	\rightarrow	現状維持
			り同会の円滑な運営を促進 し、福祉に対する理解を深 める。	320		平成28年度
7	墨田区母子寡婦さくら会補	80	区内の母子寡婦世帯で組織 する会に対して、運営費の 一部を助成することによ り、同会の円滑な運営を促	80	\rightarrow	現状維持
	助金		進し、福祉に対する理解を 深め、地域活動への参加を 促す。	80	ŕ	平成28年度
8						
9						
10						
11						

施	策	421	421 福祉に対する理解を深め、地域活動への参加を促す 部内優先順位								
事務事	業	地域福祉計画推進事業									
		墨田区	主管課・係	系(担当)							
事業概	要	し、区	の福祉 すみだ	厚生課厚生係							
			活動の	ハノン	5608-	-6150					
施策へ関連		況の変 すみた	化によ 地域福	り、地域福祉・ボラン	祉の役割が ティアフォ	増大傾向に ーラムは、	自治体が策定 ある。 ドランティア 深め、地域活	7活動の啓発	等を目的と		
		区民の	ニーズ	•							
必要性 妥当性		地域福	祉の考 、評価		ますます重	要であり今往	发も区民との る。また、今				
				指標	「現在ボランデ	ティア活動・地均	或活動をしている	ら」区民の割合	単 位	%	
		手手	ひ に	最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	H31	
		対する	る指標	25	37	目標	15				
			指標)		<u> </u>	実績	14.2				
		(/口 美//	1日1示/		H32	H33	H34	H35	H36	H37	
				目標 実績	20					25	
		指標の	選定理	由及び目標	値の理由						
		ことを	確認で	活動等をし きるため。 区民が増え	目標値の理	由は、現状を					
ᆂᆉᆒᄮ				指標					単 位		
有効性		目的	りに	最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	H31	
適格性	主		3指標			目標					
			指標)		1122	実績	110.4	1105	1126	1.10.7	
		(),,,,,,	.1¤.1×.)		H32	H33	H34	H35	H36	H37	
				目標 実績							
		お煙の	湿定理	出及び目標を	値の理由						
		10 NO		ELIXO LIN	にマンエ山						
				H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34	
			女 面	470							
			草額〕	H35	H36	H37	〔予算の傾	向〕			
		(単位	: 千円)	. 100	. 100	. 107					

1 必要性・妥当性			必要性			
区民ニーズの有無	ある		5	妥当性		
代替可能性の有無	ない		4			
区が実施すべき強い理由があるか	ある		3			
判断理由			//2/			
地域福祉計画は「社会福祉法」等に 定することとなっている。社会状況 祉の役割が増大傾向にあり、必要性	の変化により、地域福		1/0/			
2 有効性・適格性						
事業の目的が施策に合致しているか	合致している		<u>/</u>			
指標は目標値を満たしているか	満たしている	効率性			有効性	
かけたコストに対し十分な成果があるか	ある	経済性			適格性	
判断理由		必要性	有効性	効率的	評価結果	
本計画は、区、社協、社会福祉法人 主体に対し、推進の指針を示すもの フォーラムを実施し、ボランティア ている。	である。また、毎年		<u>適格性</u> 5	<u>経済性</u> 5	5	
3 効率性・経済性						
目的・対象が類似する事務事業はないか	ない	1				
実施工程やコストに改善の余地がないか	ない					
地域社会やその他住民への波及効果があるか	ある	現	烈 状維持	の上継続	売	
判断理由						
福祉関係の各計画と一体的に策定しが、各計画の法定期間がまちまちでる。会場や実行委員会の予定を合わ						
中間・最終年度 の地域福祉の考え方 取組の実施、評価	あり今後も▷ く必要がある	─────────── 区民との協働 る。	かによる計画	策定と各		
今後の 方向性 地域福祉計画を推	<u></u> 進していく。					

施策	421 福祉(こ対する理論	解を深め、	地域活動~	の参加を促	とす	部内優	先順位					
事務事業	民生・児童	民生・児童委員協議会経費 2											
	足仕禾昌(+	切和って生	1-武士! + !	マルチョン マルス・ファイン マルチョン・ファイン アイス・ファイン アイス・ファイン アイス・ファイン マイス・ファイン マイス・ファイン アイス・ファイン アイン アイス・ファイン アイン アイス・ファイン アイス・ファイン アイン アイス・ファイン アイン アイン アイン アイン アイン アイン アイン アイン アイン ア	- 甘べキ訊母	₹+10 +Uh	主管課・係	系(担当)					
事業概要	民生委員は、 域住民のもっ	厚生課厚生係											
	な活動を行っ						5608-	-6150					
16 66		n (1 = 5 1 + 5	7		コーの辛日士	-12 1 11 2	, 	++4+ o 33					
,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	民生委員の拠 得の場となっ												
関連性	ため協議会・												
	区民のニース	,											
必要性・													
妥当性	/b ++//k ld												
XIII	代替可能性の	代替可能性の状況(区が実施する必要性等)											
	地域福祉活動 うことで委員					重要で、協	協議会運営を	円滑に行					
	ノこと じ安貝	1回べの沿期	ッハートに	<u> </u>	×) ₀	1							
		指 標		全体抗	協議会		単 位	回					
	手 段 に	最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	H31					
	対する指標		37	目標	8	6	6	8					
				実績	8								
	(活動指標) 		H32	H33	H34	H35	H36	H37					
		目標 実績	6	6	8	6	6	8					
	天順												
		協議会への支援経費であるため、その全体協議会を指標とし、開催回数を目標値とした。な											
	お、年間の開 の改選期は回	:はない。な	お3年毎										
		指標	全体会にお	単位	%								
有効性・				717 Q IX, I 3									
適格性	目的に	最終目標値	目標年度	目標	基準年(H28)	H29	H30	H31					
	対する指標	90	37	実績	90 88.8	90	90	90					
	(成果指標)		H32	H33	H34	H35	H36	H37					
		目標	90	90	90	90	90	90					
		実績											
	指標の選定理	由及び目標	値の理由										
	全体協議会の しいと思われ						いては、10	0%が望ま					
		1120	H29	H30	H31	H32	H33	H34					
		H28	1123					1101					
	財 政 面		1123					1131					
	財政面	6, 737				向〕		1131					
		6, 737	H36	H37	〔予算の傾	向〕		1131					

1 必要性・妥当性				必要性		
区民ニーズの有無	ある		5	妥当性		
代替可能性の有無	ない		4			
区が実施すべき強い理由があるか	ある		3			
判断理由			2/			
地域福祉活動の担い手としての民生 に重要で、協議会運営を円滑に行う サポートにつながるため。			1//0/			
2 有効性・適格性						
事業の目的が施策に合致しているか	合致している		<u>/</u>			
指標は目標値を満たしているか	満たしている	効率性			有効性	
かけたコストに対し十分な成果があるか	ある	経済性			適格性	
判断理由		必要性	有効性	効率的	評価結果	
民生委員・児童委員同士の横のつな を通じて強化できているため。	がりを地区会や全体会	妥当性 	<u>適格性</u> 5	<u>経済性</u> 5	5	
3 効率性・経済性						
目的・対象が類似する事務事業はないか	ない	1				
実施工程やコストに改善の余地がないか	ない					
地域社会やその他住民への波及効果があるか	ある	り	引状維持	の上継続	売	
判断理由						
自主的に実施する事業と区のサポー あり、協力関係ができているため。						
中間・最終年度 地域福祉活動の担 の 講 評	童委員活動に こつながるた	ま非常に重要 とめ、今後も	そで、協議会 必要な事業	運営を円		
今後の 民生委員・児童委方向性	員活動の周知の強化を[図るとともに	こ、欠員地区	区の解消に向]けた取組	

補助金名称	民生・児	l童委員 [·]	協議会絹	圣費				主管課・係	系(担当)				
根拠法令	民生委員法	民生委員法 児童福祉法											
								5608-	-6150				
車架畑亜	民生委員は、	事業の終期											
尹未呱女	行っている。	のもっとも身近な相談相手、専門機関へのパイプ役として様々な活動を っている。 平成37年度											
	区民のニーズ	全民の二一ズ											
必要性・ 妥当性													
女当江	代替可能性の	状況(区が	実施する必要	要性等)									
	地域福祉活動 個々の活動サ				動は非常に	二重要で、協	議会運営を	円滑に行う	ことで委員				
		指	標		全体抗	劦議会		単 位	回				
		最終目	目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	H31				
	工 矶 仁	8	3	37	目標	8	6	6	8				
	手段に			H32	実績 H33	8 H34	H35	H36	H37				
	対する指標	目	 標	6	6	8	6	6	8				
	(活動指標)		<u>清</u>	0	0	0	0	U	U				
		指標の選定	理由及び目標	標値の理由									
		協議会への支援経費であるため、その全体協議会を指標とし、 した。なお、年間の開催回数は事前に決定しているため、目標 ない。											
有効性・		指標		全体会にお	全体会における民生委員・児童委員出席			単 位	%				
適格性		最終目	目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	H31				
旭伯江 	目的に	9	0	37	目標実績	90	90	90	90				
	対する指標			H32	H33	H34	H35	H36	H37				
	(成果指標)		標	90	90	90	90	90	90				
		指標の選定	績 理由及び日	煙値の理由									
		全体協議会	会の出席率	が成果と考 思われるが、									
			H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34				
	財政		5705										
	〔決算		H35	H36	H37	〔予算の傾	向〕	I					
	(単位:	十円)											
施策への関連性	民生委員の持 の場となっ ² 協議会・研	ている。ま	た、個人の	D資質向上、	自己啓発	、地区を起							

1 必要性・妥当性							
区が実施する理由があるか	ある	目的が政策上の位置付けと整合して	いるか	している			
目的・内容等が社会経済情勢に合致しているか	している	不特定多数の利益の増進に寄与する	らか	している			
区民ニーズに即しており、公益上必要と認めら れるか	扨めらわる	個人利益に対する利益に留まらず適 範囲に波及するか	がな対象	する			
区の施策目標の実現に寄与しているか	している						
和除进中							

判断理由

地域福祉活動の担い手としての民生・児童委員活動は非常に重要で、協議会運営を円滑に行うことで委員 個々の活動サポートにつながるため。

2 有効性・適格性

5

経費、補助額の算定根拠が明確になっているか	なっている	交付機会の公平性や負担の公平性が確保され ているか	されている
区が負担する割合として適切か	適切である	補助団体の活動内容が目的と合致しているか	合致している
任意団体に対する補助の場合、自立化を促進するものであるか	ある	補助目的及び金額に見合う実績等の効果があるか	ある
補助目的が既に達成されていないか	されていない	目標及び見込まれる効果が明確か	明確
団体等が自らの財源で賄う範囲と区の支援範囲 が明確となっているか	なっている	効果測定の具体的な目標・指標が明確か	明確

判断理由

民生委員・児童委員同士の横のつながりを地区会や全体会を通じて強化できているため。

3 効率性・経済性

5

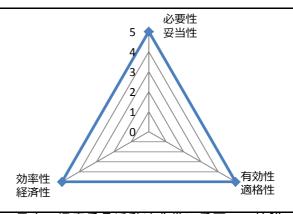
3 /37 12 12/7/12			,	
類似する補助事業がないか	ない	地域社会や区民等へ波及効果がある	らか	ある
手続が過度に煩雑でないか	煩雑ではない	個人の経済的負担軽減の場合、実質	的公平性	該当なし
目的に対する区の負担割合が適切か	適切である	を考慮しているか		図 の の の の の の の の の の の の の

判断理由

【評価結果】

自主的に実施する事業と区のサポートの役割分担が明確であり、協力関係ができているため。

現状維持・拡充



ĺ	中	間	•	最		地域福祉活動の担い手としての民生・児童委員活動は非常に重要で、協議
	年	度	の	講	評	会運営を円滑に行うことで委員個々の活動サポートにつながるため、今後 も必要な事業である。
İ	今		後		の	民生委員・児童委員活動の周知の強化を図るとともに、欠員地区の解消に

施策	421 福祉に対する理解を深め、地域活動への参加を促す 部内優先順位									
事務事業	民生・児童	(3							
	民生委員・児			的とし、先達	進的な取組を	している	主管課・係	系(担当)		
事業概要	福祉施設等の 民生委員法第		0				厚生課	厚生係		
		是田区民生委員・児童委員全体協議会要綱第3条 5608-6150								
施策への関 連性	民生委員・児童委員の資質向上を目的とし、先進的な取組をしている福祉施設等の見学を行うことにより、福祉に対する理解を深め、地域活動の参加を促す。									
	区民のニーズ									
必要性・ 妥当性	代替可能性の	代替可能性の状況(区が実施する必要性等)								
	目的達成の手	段として有	効なため、	区が継続し ⁻	て実施するこ	ことが必要で	゙ ある。			
		指標		施設見学	会の開催		単 位	回		
	手段に	最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	H31		
	対する指標	1	37	目標実績	1	1	1	1		
	(活動指標)		H32	H33	H34	H35	H36	H37		
		目標実績	1	1	1	1	1	1		
	天根 天根									
	施設見学会の開催経費であるため、開催そのものを指標とし、開催回数を目標値とした。 お、年間の開催回数は事前に決定しているため、目標値が増加することはない。									
有効性・		指標	施設見学	会の参加。	人数		単 位	人		
	目的に	最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	H31		
適格性	対する指標	120	37	目標	120	120	120	120		
	(成果指標)		H32	実績	100	ПЭЕ	П36	⊔ 27		
	(PAZICIA ISC)	目標		H33	H34	H35	H36	H37		
		実績	120	120	120	120	120	120		
	指標の選定理		値の理由							
	施設見学会の が望ましいと									
	R+ 75 =-	H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34		
	財政面	1, 549								
	〔決算額〕 (単位:千円)	H35	H36	H37	修があるた	め、決算額	に改選期に(が多くなる。			
					28, 31, 34, 3	/年度)				

1 必要性・妥当性				必要性	
区民ニーズの有無	ある		5	妥当性	
代替可能性の有無	1	4			
区が実施すべき強い理由があるか	1	3			
判断理由		//2/			
目的達成の手段として有効なため継		1/0/			
2 有効性・適格性		//			
事業の目的が施策に合致しているか	合致している				
指標は目標値を満たしているか	満たしている	効率性			有効性
かけたコストに対し十分な成果があるか	ある	経済性			適格性
判断理由		必要性	有効性	効率的	評価結果
研修は継続的に行うことで効果があ 見学会・研修会は必要である。	るため、年1回程度の	<u>妥当性</u> 5	<u>適格性</u> 5	<u>経済性</u> 5	5
3 効率性・経済性					
目的・対象が類似する事務事業はないか	ない]			
実施工程やコストに改善の余地がないか	ない				
地域社会やその他住民への波及効果があるか	ある	り	秋維持	の上継続	続
判断理由		-			
主たる経費はバスの借り上げ代であ 地はあまりない。	り、経費的に改善の余				
中間・最終年度 の 講 評 である。	生委員・児童委員の資	 質向上等に有	 可効な方法 <i>の</i>)一つである	ため必要
今後の 大 向 性 民生委員・児童委	員の研修の一環として	今後も充実を	を図っていく	. 0	

対する指標 48000 37 目標 48000 48000 48000 4	生係 63
事業概要	生係 63 施設と
年4月に墨田区が設置した複合施設。平成18年度からは、墨田区社会福祉事業団が指定管理者として施設の維持管理を行っている。 施策への	施設と
会福祉事業団が指定管理者として施設の維持管理を行っている。 5608-116 施策への関連性 利用者は、ほぼ横ばいであるが、機能訓練など一定のケアが必要な方のために必要ながなっている。 区民のニーズ 必要性・受当性 代替可能性の状況(区が実施する必要性等) 機能訓練、講座受講者の利用は多いが、障害者通所施設は代替可能な施設が少ない。 指標 福祉保健センター利用者数(各事業総合計数) 単位 事長 長終目標値目標年度 基準年(H28) H29 H30 対する指標 48000 37 目標 48000 48000 48000 48000	施設と
施策への 関連性 なっている。 区民のニーズ 必要性・ 妥当性 代替可能性の状況 (区が実施する必要性等) 機能訓練、講座受講者の利用は多いが、障害者通所施設は代替可能な施設が少ない。 指標 福祉保健センター利用者数 (各事業総合計数) 単位 最終目標値 目標年度 基準年(H28) H29 H30 対する指標 48000 37	
必要性・ 妥当性 代替可能性の状況(区が実施する必要性等) 機能訓練、講座受講者の利用は多いが、障害者通所施設は代替可能な施設が少ない。 指標 福祉保健センター利用者数(各事業総合計数) 単位 手段(こ対する指標 48000 37 目標年度 基準年(H28) H29 H30 自標 48000 48000 48000 48000	件
妥当性 代替可能性の状況(区が実施する必要性等) 機能訓練、講座受講者の利用は多いが、障害者通所施設は代替可能な施設が少ない。 指標 福祉保健センター利用者数(各事業総合計数) 単位 手段(こ 最終目標値 目標年度) 基準年(H28) H29 H30 対する指標 48000 37 目標 48000 48000 48000 48000	件
手段 に 最終目標値 目標年度 基準年(H28) H29 H30 対する指標 48000 37 目標 48000 48000 48000 4	件
対する指標 48000 37 目標 48000 48000 48000 4	·
対する指標 48000 37 目標 48000 48000 48000 4	H31
	48000
実績 53483	
	H37
目標 48000 48000 48000 48000 48000 48000	48000
指標の選定理由及び目標値の理由	
利用者数が、福祉に対する理解や地域活動への参加促進の度合いにおいて重要であるたまた利用者数を維持していくことを目標とした。	ため。
指標単位	
有効性・	H31
週格性 対する指標 目標 目標 目標 コード・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
美績	
1132 1133 1134 1133 1130	H37
実績	
指標の選及手田及の日標値の手田	
H28 H29 H30 H31 H32 H33	H34
財 政 面 608, 718	
[決算額]	
(単位: 千円) H35 H36 H37 「予算の傾向」	

1 必要性・妥当性			必要性		
区民ニーズの有無	ある		5	妥当性 ↑	
代替可能性の有無 代替可能性の有無	1	4/			
区が実施すべき強い理由があるか	-	/3/			
判断理由		//#			
機能訓練、講座受講者の利用は多い 代替可能な施設が少ない。	/	1///0/			
2 有効性・適格性				_//	
事業の目的が施策に合致しているか	合致している				
指標は目標値を満たしているか	満たしている	効率性			有効性
かけたコストに対し十分な成果があるか	ある	経済性			適格性
判断理由		必要性	有効性	効率的	評価結果
機能訓練・相談業務のほか、各種講 参加している。	座を開催し多くの方が	妥当性 3	<u>適格性</u> 5	<u>経済性</u> 4	4
3 効率性・経済性					
目的・対象が類似する事務事業はないか	ない				
実施工程やコストに改善の余地がないか	ある]			
地域社会やその他住民への波及効果があるか	ある] 改善	き・見直	しの上約	継続
判断理由					
適切に運営されている。					
中間・最終年度の講評 評別用者サービス向	などの連絡会	会の充実を図	図る必要があ	აგ.	
今 後 の 方 向 性 の方向性について	業団のあり方検討会の 検討していく。	ー 中で、福祉伊		-の事業内容	及び今後

補助金名称	福祉保健	センタ	一管理览	 運営事業	<u> </u>			主管課・係	系(担当)	
根拠法令	社会福祉法。	人に対する	助成に関す	トる条例				厚生課	厚生係	
							. 44 %	5608-	-1163	
±**'''=	「障害者問題							事業の	D終期	
事業概要	き、福祉と保健にわたるサービスを総合的に提供するため、平成元年4月 に墨田区が設置した複合施設。平成18年度からは、墨田区社会福祉事業 団が指定管理者として施設の維持管理を行っている。 平成37年度									
必要性· 妥当性		区民のニーズ 代替可能性の状況(区が実施する必要性等)								
	機能訓練、講	歴史講有の	利用は多い	か、障害有地	豊所施設は1	て谷可能な他	設か少ない	0		
		指	標	福祉保健セ	ンター利用	者数(各事業	総合計数)	単 位		
		最終目	目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	H31	
	手 段 に	48,	000	37	目標 実績	48, 000 53, 483	48, 000	48, 000	48, 000	
	対する指標			H32	H33	H34	H35	H36	H37	
	(活動指標)		標	48, 000	48, 000	48, 000	48, 000	48, 000	48, 000	
		実績 指標の選定理由及び目標値の理由								
		利用者数が、福祉に対する理解や地域活動への参加促進の度合るため。また利用者数を維持していくことを目標とした。						いにおいて	ご重要であ	
有効性・		指	標					単 位		
適格性		最終目]標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	H31	
旭山工					目標					
	目的に			1122	実績 H33	1124	HOE	1126	1127	
	対する指標		標	H32	H33	H34	H35	H36	H37	
	(成果指標)		<u>清</u>							
		指標の選定	理由及び目標	標値の理由						
	Π+ π <i>h</i>	<u> </u>	H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34	
	財政		87, 453							
	〔決算		H35	H36	H37	〔予算の傾	向〕			
	(単位:	十円)				Ī				
施策への関連性	利用者は、I なっている。		であるが、	機能訓練力	など一定の	ケアが必要	きな方のため	かに必要な	施設と	

1 必要性・妥当性			Ţ	5
区が実施する理由があるか	ある	目的が政策上の位置付けと整合して	いるか	している
目的・内容等が社会経済情勢に合致しているか	している	不特定多数の利益の増進に寄与する	らか	している
区民ニーズに即しており、公益上必要と認めら	割ねらわて	個人利益に対する利益に留まらず通	団な対象	4 Z
れるか	認められる	範囲に波及するか		する
区の施策目標の実現に寄与しているか	している			
判断理由				
機能訓練、講座受講者の利用は多いが、障	害者通所施	設は代替可能な施設が少ない。		
2 有効性・適格性			Ī	5
経費、補助額の算定根拠が明確になっているか	なっている	交付機会の公平性や負担の公平性か ているか	で確保され	されている
区が負担する割合として適切か	適切である	補助団体の活動内容が目的と合致し	ているか	合致している
壬意団体に対する補助の場合、自立化を促進す	該当なし	補助目的及び金額に見合う実績等の効	果があるか	ある
るものであるか			171/13 05 0/13	
甫助目的が既に達成されていないか 	されていない	目標及び見込まれる効果が明確か		明確
団体等が自らの財源で賄う範囲と区の支援範囲	なっている	 効果測定の具体的な目標・指標が明	確か	明確
が明確となっているか				
机除进电中				
判断理由				
	催し多くの	方が参加している。		
機能訓練・相談業務のほか、各種講座を開	催し多くの	方が参加している。	4	1
機能訓練・相談業務のほか、各種講座を開 3 効率性・経済性	催し多くの	方が参加している。 地域社会や区民等へ波及効果がある		4 ある
機能訓練・相談業務のほか、各種講座を開作 3 効率性・経済性 頃似する補助事業がないか	ない		らか	ある
機能訓練・相談業務のほか、各種講座を開作 3 効率性・経済性 頃似する補助事業がないか 手続が過度に煩雑でないか	ない	地域社会や区民等へ波及効果がある個人の経済的負担軽減の場合、実質	らか	ある
機能訓練・相談業務のほか、各種講座を開作 3 効率性・経済性 頃似する補助事業がないか 手続が過度に煩雑でないか 目的に対する区の負担割合が適切か	ない 煩雑である	地域社会や区民等へ波及効果がある個人の経済的負担軽減の場合、実質	らか	- -
機能訓練・相談業務のほか、各種講座を開作 3 効率性・経済性 類似する補助事業がないか 手続が過度に煩雑でないか 目的に対する区の負担割合が適切か 判断理由	ない 煩雑である	地域社会や区民等へ波及効果がある個人の経済的負担軽減の場合、実質	らか	ある
機能訓練・相談業務のほか、各種講座を開	ない 煩雑である 適切である	地域社会や区民等へ波及効果がある 個人の経済的負担軽減の場合、実質 を考慮しているか	らか	ある

の 墨田区社会福祉事業団のあり方検討会の中で、福祉保健センターの事業内 性 容及び今後の方向性について検討していく。

後

向

今

方

施策	421 福祉(421 福祉に対する理解を深め、地域活動への参加を促す 部内優先									
事務事業	ボランティ	ィアセング	マー管理は	 軍営費			5	5			
	社協が行うボ	ランティア	推進事業(注	ボランティ	 アセンタ <i>ー</i> 選	置営) に対	主管課・係	系(担当)			
事業概要	して財政的援	助を行うこ	とにより、	ボランティ	アの育成・活	動支援を	厚生課	厚生係			
3 214 1270 24	図り、福祉の 指定管理に係			。また、ホ [・]	ランティアも	ヹンターの	5608-	-1163			
施策への関 連性	福祉活動は、	区民が地域で支えあい・助けあう仕組みづくりの一つとして、区と社協で進めている小地域 国祉活動は、民生委員・児童委員や町会・自治会の活動に対する理解が進んだため順調に増 とており、福祉に対する理解を深め、地域活動の参加に繋がっている。									
	区民のニーズ										
必要性・											
妥当性	代替可能性の	状況(区が)	実施する必要	要性等)							
	地域福祉の担	!い手として	、今後ます	ますボラン	ティア活動の)活性化が必	必要である。				
		指標		ランティ [®] る」区民(ア活動・地 の割合	2域活動	単 位	%			
	手段に	最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	H31			
	対する指標	25	37	目標	15						
		20	• ,	実績	14.2						
	(活動指標)		H32	H33	H34	H35	H36	H37			
		目標 実績	20					25			
	指標の選定理										
	支え手と受け ンティア活動 参加している										
有効性・		1日 信	実施地区		ふれあいサ	トロン等	単位	箇所			
	目的に	最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	H31			
適格性	対する指標		37	目標	44						
	(成果指標)	110		実績	44						
	(冰木珀伝)		H32	H33	H34	H35	H36	H37			
		目標	80					110			
	指標の選定理	実績	値の細点								
					+ /+ 45 <i>+</i> > \tau =	h-z-t-11 A	4±4,2 0.04	⑷+艹 伽			
	小地域福祉活 としているの るため、社会	で、支え手	側・受け手	側ともに入	りやすい活動						
	n.tt	H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34			
	財政面	41, 365									
	〔決算額〕	H35	H36	H37	〔予算の傾	向〕	<u> </u>				
	(単位:千円)										

1 必要性・妥当性				必要性	
区民ニーズの有無	ある		5	妥当性	
代替可能性の有無	1	4			
区が実施すべき強い理由があるか	1	3/			
判断理由		/// 2/			
地域福祉の担い手として今後ますま 活性化が必要である。	/				
2 有効性・適格性					
事業の目的が施策に合致しているか	合致している				
指標は目標値を満たしているか	満たしている	効率性			有効性
かけたコストに対し十分な成果があるか	ある	経済性			適格性
判断理由		必要性	有効性	効率的	評価結果
 身近なところでのボランティア活動	の増加は地域福祉推進	妥当性	適格性	経済性	
身近なところでのボランティア活動 の観点から有用である。	の増加は地域福祉推進	妥当性 5	<u>適格性</u> 5	<u>経済性</u> 4	4
	の増加は地域福祉推進				4
の観点から有用である。	の増加は地域福祉推進ない				4
の観点から有用である。 3 効率性・経済性		5	5	4	
の観点から有用である。 3 効率性・経済性 目的・対象が類似する事務事業はないか	ない	5	5		·
の観点から有用である。 3 効率性・経済性 目的・対象が類似する事務事業はないか 実施工程やコストに改善の余地がないか	ない ある	5	5	4	·
の観点から有用である。 3 効率性・経済性 目的・対象が類似する事務事業はないか 実施工程やコストに改善の余地がないか 地域社会やその他住民への波及効果があるか	ない ある ある	5	5	4	·
の観点から有用である。 3 効率性・経済性 目的・対象が類似する事務事業はないか 実施工程やコストに改善の余地がないか 地域社会やその他住民への波及効果があるか 判断理由 指定管理業務について、改善の余地 中間・最終年度 ボランティアの育	ない ある ある	なかせないき	5・見直	4	継続

補助金名 称	ボランテ	・ィアセ	ンター智	三理運営	'費			主管課・信	系(担当)	
根拠法令	社会福祉法。	人に対する	助成に関す	「る条例				厚生課	厚生係	
								5608-	-6150	
	社協が行うたける							事業の	D終期	
事業概要	財政的援助を行うことにより、ボランティアの育成・活動支援を図り、福祉のまちづくりを推進する。また、ボランティアセンターの指定管理に係る経費を支出する。 平成37年度									
必要性・ 妥当性		区民のニーズ								
		指	標	「現在ボランラ	ティア活動・地域	域活動をしている	る」区民の割合	単位	%	
		最終目	 目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	H31	
	手 段 に	2		37	目標実績	15 14. 2	1123	1100	1101	
	対する指標			H32	H33	H34	H35	H36	H37	
	(活動指標)	目		20					25	
	(12332 1317	実 指標の選定		連続の抽由						
		支え手と受 域のボラン	きけ手が固 シティア活	定せず、皆	である。そ	寺ち支えあっ そのため地は 票とした。				
有効性・		指	標	小地域福祉活動・ふれあいサロン等実施地区数			単 位	箇所		
適格性		最終目	標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	H31	
旭伯工		11	0	37	目標	44				
	目的に				実績	1124	HOE	1126	1127	
	対する指標	目	標	H32 80	H33	H34	H35	H36	H37 110	
	(成果指標)	実		00					110	
		縁を基盤と	L活動、ふ している	れあいサロ ので、支え	手側・受け	主民の主体にナ手側ともに会が掲げる	こ入りやす	い活動では		
		E EFF1 X	H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34	
	財政	面	34194							
	〔決算		H35	H36	H37	〔予算の傾	向〕			
	(単位:	千円)								
施策への関 連性	区民が地域 ⁻ 祉活動は、! おり、福祉!	民生委員・	児童委員や	5町会・自治	台会の活動	に対する理	解が進ん#			

1 必要性・妥当性			ī	5
区が実施する理由があるか	ある	目的が政策上の位置付けと整合して	いるか	している
目的・内容等が社会経済情勢に合致しているか	している	不特定多数の利益の増進に寄与する	らか	している
区民ニーズに即しており、公益上必要と認めら れるか	認められる	個人利益に対する利益に留まらず適 範囲に波及するか	切な対象	する
区の施策目標の実現に寄与しているか	している			
判断理由				
地域福祉の担い手として今後ますますボラ	ンティア活	動の活性化が必要である。		
2 有効性・適格性			Ţ	5
経費、補助額の算定根拠が明確になっているか	なっている	交付機会の公平性や負担の公平性が ているか	確保され	されてい
区が負担する割合として適切か	適切である	補助団体の活動内容が目的と合致し	ているか	合致してい
任意団体に対する補助の場合、自立化を促進す るものであるか	該当なし	補助目的及び金額に見合う実績等の効	果があるか	ある
補助目的が既に達成されていないか	されていない	目標及び見込まれる効果が明確か		明確
団体等が自らの財源で賄う範囲と区の支援範囲 が明確となっているか	なっている	効果測定の具体的な目標・指標が明	確か	明確
判断理由	L			
身近なところでのボランティア活動の増加	は地域福祉	推進の観点から有用である。		
3 効率性・経済性			2	1
類似する補助事業がないか	ない	地域社会や区民等へ波及効果がある	か	ある
手続が過度に煩雑でないか	煩雑である	個人の経済的負担軽減の場合、実質	的公平性	該当なし
目的に対する区の負担割合が適切か	適切である	を考慮しているか		談当なり
判断理由	•			
指定管理業務について、改善の余地がある	と思われる	0.0		
【評価結果】			要性当性	

地域を巻き込んだボランティアの育成を図り、地域福祉を推進する。

後

向

の

性

施策	421 福祉(対する理解	解を深め、	地域活動⁄	への参加を仮	ます	部内優	先順位
事務事業	墨田原爆衫	皮害者の会	会補助金				(6
	健康及び生活	等の問題解	決にあたる。	とともに、	被害の実態を	訴えるた	主管課・係	系(担当)
事業概要	めの活動や平						厚生課	厚生係
	で開催される 事業を行って		典への代表が	水追、干和	╹尿爆与具因	開催寺の	5608-	-6151
施策への関連性	成することに	より同会の	する墨田原! 円滑な運営 [:]	爆被害者の: を促進し、?	会(墨田折鶴 福祉に対する	景会)に対し 理解を深め	ノて運営費の)る。	一部を助
	区民のニーズ	•						
必要性・ 妥当性	代替可能性の 代替の可能性							
		指標		 運営費	補助金		単位	千円
	 手 段 に	最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	H31
	対する指標	320	37	目標	320	320	320	320
		320		実績	320			
	(活動指標)		H32	H33	H34	H35	H36	H37
		目標 実績	320	320	320	320	320	320
	指標の選定理	由及び目標	値の理由					
	補助事業のた	め、補助金	を指標及び	目標値とし	t= 。			
有効性・		指標					単 位	
	目的に	最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	H31
適格性	対する指標			目標				
	(成果指標)		1122	実績	112.4	LIGE	1126	1127
		口捶	H32	H33	H34	H35	H36	H37
		目標 実績						
	 指標の選定理		値の理由					
			II-*7*					
	n/	H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34
	財 政 面	320						
	〔決算額〕	H35	H36	H37	 〔予算の傾l	句〕		
	(単位:千円)	1133	1130	1137				

1 必要性・妥当性				必要性	
区民ニーズの有無	ある		5	妥当性 ↑	
代替可能性の有無	不十分		4/		
区が実施すべき強い理由があるか	必須だが裁量余地あり		/3/		
判断理由			//#		
補助金交付により同会の事業運営に	役立っている。	/	1/0/		
2 有効性・適格性				$\rightarrow 1/$	
事業の目的が施策に合致しているか	合致している				
指標は目標値を満たしているか	満たしている	効率性			有効性
かけたコストに対し十分な成果があるか	ある	経済性			適格性
判断理由	必要性	有効性	効率的	評価結果	
	-1. 7	妥当性	適格性	経済性	
平和の大切さを啓発するのに役立っ	(いる。	3	5	4	4
3 効率性・経済性					
目的・対象が類似する事務事業はないか	ない				
実施工程やコストに改善の余地がないか	ある				
地域社会やその他住民への波及効果があるか	ある	改善	き・見直	しの上約	継続
判断理由					
目的・対象が類似する事務事業はな	l'°				
中間・最終年度 の 講 評	観点から、会の円滑な	軍営に資する	らものである		
今 後 の 方 向 性	ま継続していく。				

補助金名 称	墨田原爆	墨田原爆被害者の会補助金								
根拠法令	地方自治法第	第232条	の 2					厚生課	厚生係	
	ht		## N		14.4	<u> </u>	7111	5608-	-6150	
	健康及び生活 活動や平和(事業の終期							
事業概要	れる平和記念	念式典への	代表派遣、	平和・原爆	暴写真展開	催等の事業	を行って	平成3	3 7年	
	区民のニーズ									
必要性・ 妥当性										
	代替可能性の	状況(区が	実施する必要	要性等)						
	代替の可能性	はなく、区	が実施する	必要がある。						
		指	標		運営費	補助金		単位	千円	
		最終目	目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	H31	
	T (n. /-	32	20	37	目標	320	320	320	320	
	手段に	-			実績	320	HOE	1126	1127	
	対する指標		抽	H32	H33	H34	H35	H36	H37	
	(活動指標)		標 績	320	320	320	320	320	320	
		指標の選定理由及び目標値の理由								
		補助事業のため、補助金を指標及び目標値とした。								
有効性・		指	標					単 位		
適格性		最終目	目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	H31	
たコロエ					目標					
	目的に			1100	実績	112.4	1105	1126	1107	
	対する指標		 標	H32	H33	H34	H35	H36	H37	
	(成果指標)		績							
		指標の選定		 標値の理由		<u> </u>				
		_	H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34	
	財政		320							
	〔決算		H35	H36	H37	〔予算の傾	向〕	l		
	(単位:	千円)								
						<u> </u>				
施策への関連性	区内の原爆やすることに、	被害者で組 より同会の	織する墨田 円滑な運営	日原爆被害者 営を促進し、	者の会(墨 福祉に対	田折鶴会) する理解を	に対してi ·深める。	運営費の一	部を助成	

			4	4
区が実施する理由があるか	ある	目的が政策上の位置付けと整合して	いるか	している
目的・内容等が社会経済情勢に合致しているか	している	不特定多数の利益の増進に寄与する	か	していない
区民ニーズに即しており、公益上必要と認めら	=======================================	個人利益に対する利益に留まらず適	切な対象	ナフ
れるか	認められる	範囲に波及するか		する
区の施策目標の実現に寄与しているか	している			
判断理由				
補助金交付により同会の事業運営に役立っ	ている。			
2 有効性・適格性			2	1
経費、補助額の算定根拠が明確になっているか	なっていない	交付機会の公平性や負担の公平性が ているか	確保され	されてい
区が負担する割合として適切か	適切である	補助団体の活動内容が目的と合致し	ているか	合致してい
任意団体に対する補助の場合、自立化を促進す るものであるか	ない	補助目的及び金額に見合う実績等の効果	果があるか	ある
補助目的が既に達成されていないか	されていない	目標及び見込まれる効果が明確か		明確
団体等が自らの財源で賄う範囲と区の支援範囲	なっている	効果測定の具体的な目標・指標が明	確か	不明確
が明確となっているか 判断理由	0.2 (0.0	7,55,74,76,72,75,74,75,75,75,75		1 .,3+6
平和の大切さを啓発するのに役立っている	0			
3 効率性・経済性			Į.	5
類似する補助事業がないか	ない	地域社会や区民等へ波及効果がある	か	ある
手続が過度に煩雑でないか	煩雑ではない	個人の経済的負担軽減の場合、実質	的公平性	該当なり
目的に対する区の負担割合が適切か	適切である	を考慮しているか		
判断理由				
目的・対象が類似する事務事業はない。				
		心里		
改善・見直し	,	必要当 4 3 2 1 0 効率性 経済性		有効性適格性
改善・見直し		5 妥当 4 3 2 1 0 0	当性	

当面は、現状のまま継続していく。

向

施策	421 福祉(対する理解	解を深め、	地域活動⁄	への参加を促	ます	部内優	先順位
事務事業	墨田区母-	子寡婦さく	くら会補即	<u></u> 助金			7	7
							主管課・係	系(担当)
事業概要	区内の母子寡 ことにより、				営費の一部を	助成する	厚生課	厚生係
	ここにみり、	円式の口用	の圧占で促	≝ 7 ′O /∘			5608-	-6151
施策への関 連性	区内の母子寡 滑な運営を促							同会の円
	区民のニーズ							
必要性・ 妥当性	代替可能性の 代替の可能性)			
		指標		運営費	補助金		単 位	千円
	 手 段 に	最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	H31
	対する指標		37	目標	80	80	80	80
	(活動指標)			実績	80	HOE	1126	1127
	(目標	H32 80	H33 80	H34 80	H35 80	H36 80	H37 80
		実績	00	00	00	00	00	00
	指標の選定理	由及び目標	値の理由					
	補助事業のた	め、補助金	を指標及び	目標値とし	<i>t</i> =。			
有効性・		指標					単 位	
適格性	目的に	最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	H31
地位计	対する指標			目標				
	(成果指標)		H32	実績 H33	H34	H35	H36	H37
		目標	1132	1133	1154	1133	1130	1137
		実績						
	指標の選定理	由及び目標	値の理由		•		-	
		H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34
	財 政 面	80						
	〔決算額〕	H35	H36	H37	〔予算の傾	句〕		
	(単位:千円)	1133	1150	1137				

1 必要性・妥当性			必要性		
区民ニーズの有無	ある	5 妥当性			
代替可能性の有無	ない	4			
区が実施すべき強い理由があるか		3			
判断理由			//2/		
補助金が母子交流等の事業運営に役	/	1/0/			
2 有効性・適格性					
事業の目的が施策に合致しているか	事業の目的が施策に合致しているか 合致している				
指標は目標値を満たしているか	満たしている	効率性			 有効性
かけたコストに対し十分な成果があるか	経済性			適格性	
判断理由	必要性	有効性	効率的	評価結果	
		妥当性	適格性	経済性	
母子福祉の増進に役立っている。		4	3	4	4
3 効率性・経済性				<u> </u>	L
目的・対象が類似する事務事業はないか	ない	改善・見直しの上継続			
実施工程やコストに改善の余地がないか	ある				
地域社会やその他住民への波及効果があるか	ある				
判断理由					
目的・対象が類似する事務事業はな	l'°				
中間・最終年度 の 講 評 補助により、母子	交流や福祉の増進に役	立っている。			
今 後 の 方 向 性	ま継続していく。				

補助金名 称	墨田区母	子寡婦	さくらき	会補助金	•			主管課・係	系(担当)	
根拠法令	地方自治法第	第232条	の 2					厚生課	厚生係	
								5608-	-6150	
±****	区内の母子類	真婦世帯で	事業の終期							
事業概要	により、同				EGQ.	N (6 2 41	,, , , , ,	平成 3	7年度	
	区民のニーズ									
必要性・ 妥当性										
	代替可能性の	弋替可能性の状況(区が実施する必要性等)								
	代替の可能性	はなく、区	が実施する	必要がある。						
		指			運営費	補助金		単位	千円	
		最終目	目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	H31	
	工 机 一	8	0	37	目標	80	80	80	80	
	手段に			H32	実績 H33	80 H34	H35	H36	H37	
	対する指標		 標	80	80	80	80	80	80	
	(活動指標)		源 績	00	00	00	00	00	00	
		指標の選定理由及び目標値の理由								
		補助事業のため、補助金を指標及び目標値とした。								
有効性・		指	標					単位		
適格性		最終目	目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	H31	
是山土	-				目標					
	目的に			1122	実績	112.4	1125	1126	1127	
	対する指標	F	 標	H32	H33	H34	H35	H36	H37	
	(成果指標)		績							
		指標の選定		標値の理由		<u> </u>				
			H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34	
	財政		80							
	〔決算		H35	H36	H37	〔予算の傾	向〕	<u> </u>		
	(単位:	干円)				İ				
施策への	区内の母子類	寡婦世帯で	組織する会	全に対して、	運営費の	一部を助成	することに	こより、同	会の円滑	
関連性	な運営を促進	進し、福祉	に対する理	里解を深め、	地域活動	への参加を	·促す。 			

1 必要性・妥当性			4	4
区が実施する理由があるか	ある	目的が政策上の位置付けと整合して	こいるか	している
目的・内容等が社会経済情勢に合致しているか	している	不特定多数の利益の増進に寄与する	3か	していない
区民ニーズに即しており、公益上必要と認められるか	認められる	個人利益に対する利益に留まらず返 範囲に波及するか	適切な対象	する
区の施策目標の実現に寄与しているか	している			
判 <mark>断理由</mark> 補助金が母子交流等の事業運営に役立って	いる。			
2 有効性・適格性			4	4
経費、補助額の算定根拠が明確になっているか	なっている	交付機会の公平性や負担の公平性だ	が確保され	されてい
区が負担する割合として適切か	適切である	補助団体の活動内容が目的と合致し	しているか	合致してい
任意団体に対する補助の場合、自立化を促進す るものであるか	ない	補助目的及び金額に見合う実績等の効	見があるか	ある
補助目的が既に達成されていないか	されていない	目標及び見込まれる効果が明確か		不明確
団体等が自らの財源で賄う範囲と区の支援範囲が明確となっているか	なっている	効果測定の具体的な目標・指標が明	月確か	不明確
判断理由		<u> </u>		
3 効率性・経済性	1 +>+ .			4
類似する補助事業がないか	ない	地域社会や区民等へ波及効果がある		ない
手続が過度に煩雑でないか		個人の経済的負担軽減の場合、実質	質的公平性	該当なし
目的に対する区の負担割合が適切か	適切である	を考慮しているか		
		l		<u> </u>
判断理由 目的・対象が類似する事務事業はない。				
判断理由		必	要性当性	有効性適格性
判断理由 目的・対象が類似する事務事業はない。 【評価結果】 改善・見直し	,	必 妥 4 3 2 1 0		